

## 発刊にあたって

お読みになっている皆様をご存じのとおり、舞鶴市を含む北近畿地域においては、人口減少が止まらず、高齢化社会となっています。地方創生が言われていますが、地域に住まい、地域で働く方々の活動が、それを支え進めて行くものと思います。

この度、地域のステークホルダーの産学公民金報の皆様と、地域の課題を共有して、それを解決しているという枠組み、プラットフォームが、トヨタ財団国内助成プログラムとしてのご支援で実現しました。幅広い方々のその情報をお伝えするために、ニュースレターをお届けすることとなりました。

我々の活動を紹介するだけではなく、お読みになった方々からのご意見をいただければ幸いです。

内海 康雄

## プロジェクトについて

プロジェクト名称は「漁業における I T 活用と地域プラットフォームの構築—安全で豊かな身近な海に暮らす」、チーム名は「まいづる未来の海プロジェクト」です。漁業関係者の生活の質の向上を目的とし、舞鶴市田井漁港の定置網漁の具体的課題を解決しながら I T 活用プラットフォームを構築します。

- 課題 1 安全な海へ 陸上作業者を含む従事者の安全確保
- 課題 2 豊かな海へ I T を活用した効率化と消費エネルギー削減
- 課題 3 身近な海へ 課題解決のプラットフォームの構築

### 課題 1 安全な海へ 陸上作業者を含む従事者の安全確保 (株式会社テックス 鈴木 直康様)

次のような課題に関連する活動をしています。

- 課題 1 : ここ数カ月は、周辺機器の準備を進めていました。汎用中継器の試作品ができました。東京湾を使用し 8 0 km 送受信試験を実施しました。Bluetooth を使用した、船舶から一定距離が離れたら、緊急信号を自動送信する試験を実施中です。
- 課題 3 : 熊本県の依頼で、独居老人向け J アラート通知と生存確認端末のニーズがあり、試作品を作成中です。市町役場から、J アラートと町内放送 (定型文) を各家庭に音声と文字で通知します。また、非常時にボタンを押すと、市町役場へ通知できます。避難時は、携帯受信機を持って移動します。

### 課題 2 豊かな海へ I T を活用した効率化と消費エネルギー削減 (舞鶴高専 小林 洋平准教授)



魚釣りに行き釣れないことをボウズという。趣味ならば笑って許されるが、それが仕事ならばボウズは深刻だ。未来の海はこの問題を I T 技術で解決する。難しいことを言っているようだが話は簡単である。つまり魚がいるときに魚を捕まえに行く。ボウズを回避するにはただこれだけでよい。魚がいるかどうかの情報を情報技術により漁業者に伝え、魚がいるときだけ魚を捕まえに行く。課題 2 の課題はこのようにとてもシンプルである。ただ、その課題解決方法はそれほどシンプルでない。

### 課題3 身近な海へ 課題解決のプラットフォームの構築（舞鶴高専 内海 康雄校長）

課題1、2での社会実装をする過程で、漁業関係者と地域内外のステークホルダーが協働してプラットフォームを構築しながら、自ら課題を発見・解決できる持続的なIT漁業を実現します。漁業に関連する他課題の発見と解決のための議論とネットワークを通じて、漁業関係者と地域内外のステークホルダーが協働します。漁業以外の新たな課題、例えば防災対策、獣害対策の解決につなげたいと思います。

#### 参加者の活動紹介1（舞鶴市役所 農林水産課・株式会社KDDI 総合研究所 高橋 幹様）



毛島漁場スマートブイ設置状況



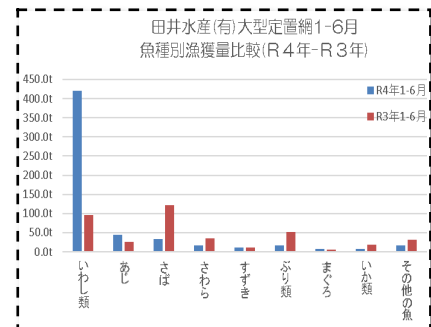
スマートブイ設置漁場位置図

昨年7月に田井水産有限会社、KDDI株式会社、株式会社KDDI総合研究所、舞鶴工業高等専門学校及び舞鶴市が連携し、田井水産が営む大型定置網2ヶ統にスマートブイの設置およびモニタリングを開始してから1年が経過しました。

ブイの耐候性、データ受信の安定性について実証実験を行いつつ、ブイの観測データ（水温、波高）、気象庁のデータ（気温、降水量、平均風速）に日別魚種別の漁獲データを組み合わせて漁獲量の予想モデルの作成に向けKDDI総合研究所で分析を進めているところです。

今後、データの蓄積により、精度の高いモデルの構築が期待されます。また、燃料代や氷代などコストの削減と高鮮度の出荷を目指します。

なお、令和4年1～6月の漁模様は、3～4月に「まいわし」が大漁に漁獲されたことにより、前年同時期の1.4倍、特に毛島漁場は2.3倍の漁獲となっています。



#### 参加者の活動紹介2（細井工業株式会社 細井 正敏様）



私たちは舞鶴市の基幹産業を支える機械器具メーカーです。主力製品は自動車のフロント・リヤガラス曲げ金型で、昭和26年から舞鶴市内に拠点を構え、「お役立ちの心でものづくり」をモットーにお客様のお求めに対して、高い技能と技術力、開発力を武器に存在価値を高める努力をしております。お客様のお求めとは「できないかなあ」「こうすれば形に」等々をものづくりの良きパートナーとして積極的な提案ので

きる会社で、我々はお客様から選ばれる会社を目指して全社員は「ONE TEAM」として、互いが互いをリスペクトし合い、可能性に挑戦を続けるものづくり企業でありたいと考えております。皆様のご指導、ご鞭撻いただけますと幸いに存じます。

細井工業株式会社様ホームページ <https://hosoi1939-industry.co.jp/>

#### 関係するイベントの紹介

第24回ジャパン・インターナショナル・シーフードショーへ出展しました。（2022.8.24～8.26）